

事業者の社会的責任(CSR)の取組(第8条)

条文の意図(逐条解説)

- ・市内で活動する事業者は、地域のまちづくりに貢献していく責務がある
- ・自治体や非営利活動団体なども事業者の立場で行動する場合には適用される

かわさきコンパクト

- ・「かわさきコンパクト」は、基本原則に共鳴する事業者や市民の自発的な参加を募り、多様な主体の協働により様々なプロジェクトを生み出していくもので、「ビジネスコンパクト」と「市民コンパクト」で構成している。
- ・ビジネスコンパクトでは、川崎市内に本社・事業所を有する企業が、グローバルな経営環境変化を自らの課題として認識し、社会からの要請を踏まえた主体的な活動を展開していくことを促している。
- また、市民コンパクトでは、環境問題や社会課題の解決に向けた市民の主体的な活動を推進している。

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
ビジネス・コンパクト、 市民コンパクト登録数(件)	8	21	33	34	36	37

【川崎市役所の事業者としてのCSR】

- ・国連グローバルコンパクトの署名
- ・川崎市環境配慮電力入札の実施
- ・総合評価一般競争入札制度の実施
- ・契約条例の改正(いわゆる公契約の規定)

		平成23年度	平成24年度
川崎市契約条例第7条対象 契約件数	工事請 負契約	15	21
	業務委 託契約	34	178

商店街による事例:日吉商店街連合会ほか

「日吉まつりを中心としたエコ啓発活動」(平成24年11月)

※平成24年度 第1回スマートライフスタイル大賞優秀賞 受賞

- ・日吉商店街連合会が中心となって毎年開催する「日吉まつり」において、市内各団体と協働でエコ活動、省エネ活動を実践、啓蒙することにより、CO2削減、地球温暖化対策を推進
- ・地元の団体・学生との触れ合いを通じて、生徒の健全育成、地域の活性化を図る



【スマートライフスタイル大賞制度】

「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略」に基づき低炭素社会の構築を目指した取組を進めるため、CO2削減、地球温暖化対策に貢献する市民、事業者等の優れた取組を表彰する「スマートライフスタイル大賞」制度を、平成24年度より創設

中小企業による事例:チーム等々力(等々力工業会有志)

「夏休みものづくり体験」(平成24年7月)

「万華鏡・こま・メタルパッチワーク作り in なかはら子ども未来フェスタ」

(平成24年11月)

- ・中原区子ども支援ネットワーク(中原区役所地域課題対応事業)の活動の一環として開催
- ・等々力工業会会員企業の有志で構成する「チーム等々力」が受託により事業実施



【中原区子ども支援ネットワーク】

- ・「小学生以上を対象としたこども支援の推進、
「関係団体・機関による情報交換、相互協力等」
を行うために設置
- ・地域に根ざした子ども支援活動を行う
- ・地域のステキな大人に出会うことで、児童・生徒の将来に対する具体的な目標や、学校生活の意義に気づいてもらうため「あり方・生き方プロジェクト」を実施



企業との地域活性化に向けた連携協定

- ・株式会社セブン-イレブン・ジャパン
(平成21年9月17日)
「安心して暮らしていくためのまちづくり」の取組や「地球に優しいまちにしてい」取組など7つの分野について連携
・各店舗を「地域交番」として位置づけた取組
・地域の救急応急ステーションとした取組 など
- ・川崎読売会(読売新聞販売店)
(平成24年4月16日)
環境、福祉、教育等の地域貢献活動を推進することを目的とした協定に基づき、地域貢献に関するさまざまな取組を推進
・市内の小学校への本の寄贈
・配達スタッフ等による地域防犯活動の強化や、高齢者の見守り等の検討 など
- ・川崎東京会(東京新聞販売店)
(平成24年7月3日)
市民サービスの向上と地域の一層の活性化に資するよう、5つの連携事項について取組を推進
・タウン紙「東京新聞TODAY」に川崎市からの広報紙面を新設
・ホームタウンスポーツパートナーと連携した各種スポーツ教室の実施等の検討 など